

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

# 公益財団法人 ハーモニィセンター

平成29年度

事業計画書



公益財団法人ハーモニィセンター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター内  
電 話 03-3469-7691  
FAX 03-3469-7714

## 目次

—はしがき—	… 2
1 ポニークラブ、子ども動物広場、牧場等の運営及び受託管理	… 2
1－1 ポニートレーニングキャンプ	… 2
1－2 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ	… 3
1－3 相馬ポニー牧場・ポニークラブ	… 3
1－4 小貝川三次元プロジェクト	… 4
1－5 動物広場	… 4
2 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及	… 6
3 川べり環境の整備及び活用の推進	… 7
4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成	… 8
5 国際文化交流、技能実習生受入等の推進	… 8
6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及	… 8
7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信	… 8
8 その他	… 9

## はしがき

10数人の熱い思いを持った若者達によって始められたハーモニィセンターは、50年以上の年を重ね、専従職員は70名を超えた。このような団体が50年続くのは奇跡的と言われるが、先をゆく大きな団体の例を見れば、ある時から大企業病、或いは動脈硬化と言われる現象が見られ、そのことが団体の存続・発展を困難にする一因となっている。ハーモニィセンターとて、例外ではない。

時代、地域の要請に応えながら、会員、ボランティア、職員といった構成メンバーの願いをも一つ一つ叶えてきたが、前年度実施された大規模な制度改革により、労働者としての職員の待遇改善と、事業体としての団体の存続、受託事業で求められる業務執行の在り方の間に少なからず齟齬が生じることとなった。時代への適応の名の下に設立当初のミッションを忘れることとなっては進むべき道を誤ることになりかねない。

前年度、任期途中で主要な役員が辞任があったことを受け、大野理事長の再登板を機に、職員体制、組織も大幅に修正した。今年度は組織運営、事業運営の安定を図りつつ、単なる守りの姿勢ではなく、ハーモニィセンターの原点に立ち返りながら職員の意識を高め、公益法人として活動の一つ一つが積極的な社会貢献につながるよう、気持ちも新たに日々の活動に取り組んでゆきたい。

### 【重点施策】

- ① キャンプの実施、動物広場の契約・運営、移動動物教室の在り方を総点検し、安定した経営基盤を築く。
- ② 「職員全員広報マン」という気持ちで、あらゆる機会をとらえ、様々な方法で参加者、利用者増を図る。
- ③ 東日本大震災以降求められている、「すぐに家族の元に戻れる場所」での多彩な事業の実施。
- ④ 他団体、グループへの支援や連携を初めとし、ハーモニィセンターに会員、ボランティアとして名を連ねることを誇りとしてもらえる社会貢献活動の実施。
- ⑤ 事業所間、職員間の情報交換を密にし、それぞれでこらされている工夫をつなぎ合わせ、新事業を創出する。

# 1 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の運営

## 1-1 ポニートレーニングキャンプ

28年度、担当者一人体制により、長期休み以外の時期の実施を縮小したが、会員の事業参加機会の確保と継続性という面が重要なトレーニングキャンプとしての効果、参加者の動機づけを高めるため、担当者を2名増員し、通年での実施と運営内容・方法の総点検を進めることとする。  
年間の実施回数、泊数、参加者見込は下表のとおり。

### 【年間の代々木事業所主催キャンプ】

	実施回数	延べ泊数	参加数	
			子ども	大人
長期	20回	62泊	900名	0名
短期	11回	14泊	250名	50名
受託	2回	5泊	72名	5名
日帰り	0回	0泊	0名	0名
計	33回	81泊	1,222名	50名

## 1-2 蓼科ポニー牧場・ポニークラブ

開設から40年がたった今も、ポニーキャンプ、ポニーの生産・調教、移動教室の基地、カウンセラー・スタッフの研修会、新旧のメンバーが交流する最重要の場であることに変わりはない。  
この役目の再認識から、その機能を最大限に引き出すため、各所の改修を初めとし、牧場を中心とした広範囲な地域との連絡・連携を深めながら利用者増を図る。

### 【事業内容】

- ① 野外教育施設としてのポニーキャンプ（主催事業）・ボランティアリーダー研修。
- ② 蓼科ポニークラブ（月2回日曜日の午後）
- ③ 他団体日帰り・宿泊乗馬体験
- ④ 移動乗馬教室
- ⑤ 引き馬・乗馬レッスン
- ⑥ ハーモニイセンタースタッフの乗馬技能・馬匹管理研修
- ⑦ 他の事業所と連携してのポニー・馬の繁殖、調教、育成
- ⑧ 団体・個人での研修受け入れ・相互交流
- ⑨ 学校向け、修学旅行・オリエンテーションの受け入れ
- ⑩ ポニーライダーズカップ開催
- ⑪ ポニーステイ（小中学校へのポニー貸出しと運営・指導の支援）
- ⑫ NPO法人ハーモニイカレッジとの人材交流、合同プログラム開発。

## 1-3 相馬ポニー牧場・ポニークラブ

現在、退職した元牧場職員に管理を委託しながら、地域の除染土仮置き場、近隣のNPO法人の職員宿舎、倉庫として活用している。年度内には今後の方向性を決定したい。

## 1-4 小貝川三次元プロジェクト

「川べりの牧場」として、引き馬や馬場でのレッスンのみならず、地元 NPO との協働により、「小貝川三次元プロジェクト」として河川敷を利用したトレッキング、カヤック、MTB など、幅広いアウトドアプログラムを提供すると共に、市民の憩いの場である「小貝川生き生きクラブ」を受託運営する。

今年度は土浦方面での活動を強化すると共に、永年の懸案であった宿泊施設の確保・活用を本格的に進めてゆく

### 【事業内容】

#### ① ポニー牧場の運営

1. 乗馬（引き馬、団体レッスン・個人レッスン）
2. 高齢者健康乗馬
3. 川べり乗馬トレッキング
4. 障害児・者の乗馬
5. 移動乗馬教室（幼稚園・保育園・小学校・一般・高齢者）
6. ポニー教室（三次元プロジェクト会員の小学校1年生～中学校3年生）
7. ふれあい動物園（保育園・幼稚園・小学校・一般・高齢者向）
8. キャンプの実施（自主事業・委託事業）
9. 青少年ボランティアの育成
10. 河川騎馬パトロール
11. 河川整備
12. 乗馬指導・乗用馬管理指導

#### ② 小貝川生き生きクラブの運営受託（施設管理）

1. パソコン教室（高齢者向け・週1回開催）
2. 馬頭琴サークル（不定期開催。開催は理事長室）

#### ③ 川遊び体験教室、子どもの水辺安全講座（5月～11月）

#### ④ マウンテンバイクツアー（年2回程度）

#### ⑤ 団体受け入れ

#### ⑥ NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会所有資機材（ボート、ライフジャケット）の管理と貸出業務

## 2 ポニーキャンプ®、ポニークラブ®、動物広場、牧場等の受託管理

動物広場（ふれあい動物広場、動物園）の運営は、全て各自治体とハーモニセンターとの間で交わす契約書・仕様書（委託）、協定書（指定管理者）に基づいて行われる。

碑文谷、相模原は5年の指定管理期間の4年目。万騎が原は5年契約の2年目。板橋は3年契約の2年目。上千葉は9月より3年契約の2年目に入る。

契約内容により、来園者への声掛けが可能な碑文谷、水元、相模原では広場単位で蓼科ポニーキャンプを実施する。

### 【施設概要一覧】

	所管課・契約先	面積等	飼育動物	職員数
碑文谷	目黒区都市整備部みどりと公園課	3,310 m <sup>2</sup>	ポニー6頭・ウサギ・モルモット・犬・亀	7名
水元	葛飾区教育委員会地域教育課	3,263 m <sup>2</sup>	ポニー15頭	10名

相模原	相模原市 環境保全部 公園課	15,000 m <sup>2</sup>	ポニー 21頭・ヤギ・ヒツジ・ モルモット・ウシ・ブタ・リス ザル・アライグマ・シマリス・ ミーヤキヤット・ハイラック ス・シカ・ウサギ・鳥類・クジ ャク・チャボ等	18名
万騎が 原	財団法人 横浜市緑の協会	2,000 m <sup>2</sup>	モルモット・日本鶏・ハツカネ ズミ	3名
板橋 2園	板橋区土木部 みどり公園課	本園 1,907 m <sup>2</sup> 高島平分園 583 m <sup>2</sup>	ポニー 4頭・ウサギ・モルモッ ト・ヤギ・シカ・ヒツジ・フラ ミンゴ・クジャク・カメ・鳥類・ リス等	10名
海老名	相鉄企業株式会 社	2,014 m <sup>2</sup>	ポニー 2頭 モルモット、ウサ ギ、チャボ	4名
上千葉	葛飾区都市整備 部公園課	2,100 m <sup>2</sup>	ポニー 5頭・ヤギ・ミニブタ・ ウサギ・シマリス・リスザル等	7名

## 【各施設事業内容等】

### 2-1 碑文谷公園こども動物広場（ポニー園）

- ① ポニー引き馬乗馬
- ② 団体向け乗馬ポニー教室(障害児グループ・幼稚園・保育園・学校・一般グループ)
- ③ ポニー乗馬教室（4～6月、7～9月、10～12月、1～3月の年4期）
- ④ 小動物とのふれあい
- ⑤ 動物クラブ（動物飼育体験クラブ）
- ⑥ イベントの開催（ポニーまつり、大人・親子乗馬会など）

### 2-2 水元中央公園子ども動物広場（ポニースクールかつしか）

- ① 健常児、障害児のための乗馬教室
- ② 幼稚園、保育園、特別支援学校の団体乗馬教室
- ③ 幼児、小学生対象の引き馬乗馬
- ④ ホームページによる広報活動、日々の活動報告
- ⑤ 夏の子ども祭り、クリスマス音楽会、区民誰でも乗馬会、卒業式などの特別事業
- ⑥ 区内のお祭りへ出張乗馬、見本演技披露（年2回）
- ⑦ 介護予防高齢者乗馬

### 2-3 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

- ① 小動物とのふれあい（ウサギ・モルモット・ヤギ・ヒツジ）
- ② 指導員付ポニー乗馬（引き馬）
- ③ 親子によるポニー乗馬（二人乗り引き馬・提案事業）
- ④ 飼育動物利用のイベント開催（羊毛クラフトなど・提案事業）
- ⑤ 子育て支援の一環としての親子ポニー教室（提案事業）
- ⑥ ポニーボランティアの育成（提案事業）
- ⑦ 毎月の特別企画（父の日母の日乗馬、敬老の日乗馬、動物と記念写真など）
- ⑧ ポニー教室
- ⑨ 障害児乗馬教室
- ⑩ 搾乳体験
- ⑪ 展示動物の飼育管理
- ⑫ 動物クラブ（飼育体験クラブ）の指導運営
- ⑬ 春・秋の動物フェスティバル

- ⑭ 近隣への出張乗馬教室
- ⑮ 幼稚園・保育園・学校等の団体の利用受け入れ
- ⑯ 近隣施設（相模川ふれあい科学館）との協力プログラム、水棲生物展示など

#### 2-4 万騎が原ちびっこ動物園（野毛山動物園分園）

- ① 小動物とのふれあい
- ② 展示動物の飼育管理
- ③ イベントの開催（ポニー体験乗馬会、ヒツジの毛や鶏の羽を使った工作教室など）
- ④ 野外活動センター体験キャンプ受け入れ
- ⑤ 年3～5回程度のポニー体験乗馬プログラム

#### 2-5 板橋こども動物園（本園・分園）

平成30年度、本園が建て替えとなるため、28年度に引き続き、施設建設についての助言を行ってゆく。

- ① 小動物のふれあい(ウサギ・モルモット・山羊・羊)（本園・分園）
- ② 引き馬指導員付ポニー乗馬（本園通年・分園年5回）
- ③ 展示動物の飼育管理（本園・分園）
- ④ ポニー教室 年5回（本園） 4月～12月までの間 1クール5日間。
- ⑤ 馬車の運行（本園） 毎月1回
- ⑥ 幼稚園・保育園・小学校・障害者団体等の受け入れ（本園・分園）内容 モルモット抱っこ・引き馬
- ⑦ 出張ふれあい教室 概ね年10回（本園） 使用動物 モルモット・ウサギ・山羊・ポニー
- ⑧ 動物クラブ(飼育体験クラブ)の指導・運営(本園・分園) 小学校3年生～中学生まで 休園日以外活動可能 時間 開園～閉園時間まで。
- ⑨ 動物園祭り（本園） 毎年10月 内容 日常業務に加え2人乗り引き馬・羊毛クラフト・動物グッズ他 冬のミニイベント 12月～2月毎週日曜日(分園)
- ⑩ 就労困難者の受入

#### 2-6 海老名ふれあい動物施設

- ① 馬車の運行
- ② 引き馬指導員付ポニー乗馬
- ③ 小動物とのふれあい（ウサギ、モルモット、チャボなど）
- ④ 各種イベントへの出張活動
- ⑤ 幼稚園・保育園・学校等の団体プログラム
- ⑥ 夏、冬のポニー体験教室（それぞれ10回、5回）、春の親子ポニー教室
- ⑦ 物産品、関連グッズの販売

#### 2-7 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

- ① 小動物とのふれあい（ウサギ・モルモット・ヤギ）
- ② 引き馬によるポニー乗馬（1頭に付き2名で対応）
- ③ 動物愛護クラブの指導運営（期間や時間を定めての実施）
- ④ ポニー教室の実施（3回・各5日間・各1時間）
- ⑤ 展示動物の飼育管理（リスザル・シマリス・鳥類）
- ⑥ 出張動物園の実施（区内の高齢者施設や障害者施設、養護学校が対象）
- ⑦ 職場体験（中学生・高校生・専門学校生）

## 3 教育、福祉、医療等の現場におけるポニー乗馬の普及

### 3-1 ポニーを学校へ導入（「ポニーステイ」の取り組み）

学校へのポニー貸出し、派遣、飼育指導など、教育、福祉、医療等の現場でのポニー活用を働きかけてゆく。

蓼科ポニー牧場では、県内・伊那市立伊那小学校、諏訪市立高島小学校への長期貸し出しを引続き実施する。

### 3-2 グランドポニースクール（新潟県長岡市）

2週間にわたって市内の小中学校、高齢者施設をめぐり、移動乗馬教室を行うグランドポニースクールを9月8日から14日、9月24日から10月2日まで実施する。（委託）

また、7月、12月には長岡市主催の蓼科ポニーキャンプを実施する。（7月：60名、12月：30名）

### 3-3 帯広畜産プロジェクト（仮称）

2013年に始まった、帯広畜産大学が「馬」を中心に据えた教育・福祉・地域貢献への取り組みへの協力依頼を受け、下記の協力活動を行う。

- ①「動物介在活動室」への職員（1名）1年派遣。
- ②「No. 5ちくだい馬フォーラム（10月）」イベントへの協力。
- ③帯広畜産大学における獣医・畜産馬実習に協力・指導。
- ④帯広畜産大学における馬事普及に基づいた学生への馬事・乗馬（軽乗含む）指導。
- ⑤帯広畜産大学が帯広市との連携で行う社会貢献事業（障害者乗馬・特別支援学級や少年院等に対する馬事・乗馬体験）への協力・指導。

### 3-4 三鷹市立第一小学校における馬を軸にした体験活動

市立小学校で事業時間中に丸1日かけて行われる事業に馬と指導者を派遣する。年4回実施され、今年度は4年計画の2年目となる。

## 4 川べり環境の整備及び活用の推進並びに社会教育に必要な指導者の養成

26年度、国土交通省関東地方整備局利根川河川事務所によって河川協力団体に認定された際に策定した5年間の活動実施計画に基づき、小貝川ポニー牧場を中心として河川に賑わいを取り戻し、環境点検・保全・清掃・事故防止・災害時に貢献するべく、活動する。

#### 【事業内容】

- ① 騎馬による河川パトロール活動（年数回、危険箇所等のチェック、ごみ拾い）
- ② 移動乗馬教室開設（河川敷、各種教育福祉施設広場など）
- ③ 河川流域関連イベント参加
- ④ 河川流域関連学習、研究会の開催
- ⑤ 河川敷の除草

## 5 国際文化交流、国際相互交流活動の推進

### 5-1 モンゴル大草原乗馬交流

28年度に引き続き、訪問地、プログラム、パートナー、旅行社等々、再開に向けての見直しを続ける。

### 5-2 日独青少年相互交流計画

日本とドイツの青少年がお互いの国を行き来し、異文化交流を通して学びあい、国際的視野を広げる機会とする。隔年で派遣と受け入れを交互に行っており、今年度は派遣の年となる。

本事業開始時からのパートナーである大崎市鳴子国際交流協会と合同で派遣する。

また、並行して官民間問わず、受け入れも含めた新たなパートナー探し、翌年の受け入れ経費捻出のための調査（助成金申請等）を進める。

日程 2018年8月中旬  
人数 目標 15人  
対象 16歳～30歳の青少年。

### 5-3 日独乗馬交流

シュタインフルト郡ラッドベルゲン馬術連盟・軽乗連盟の全面的な協力を受け、国内他団体にも呼びかけて指導者同士の交流を図る。（指導者招聘）また、3月には歴史あるドイツの馬文化にふれ、乗馬体験を中心として交流する、子供を中心とした派遣を行う。

## 6 社会教育に関する調査研究の推進及び研究成果の普及

治療的乗馬協会、全国乗馬倶楽部振興協会、その他のグループが乗馬の効用、馬の活用状況に関連して実施する研究集会、調査、交流会等に積極的に参加・協力し、当会が蓄積してきたノウハウ、成果等を積極的に発信すると共に、参加職員の研修、情報収集にも努める。

## 7 新聞、雑誌、図書等の刊行及び電子媒体による情報発信

### 5-1 機関紙「THE HARMONY CENTER」の発行

タブロイド判を復刊すると共に、ハーモニセンターに連なる多彩な会員・関係者に取材することにより、キャンプ中心ではなく、大人も楽しめる読み物として質の高い情報発信に努める。

- ① 発行ペース：月刊
- ② 掲載内容：ハーモニセンターの行う「社会教育活動」の紹介
- ③ 発行部数：各号2,000部
- ④ 設置場所：公的機関（役所・公立図書館）および有料で設置できる場所（郵便局・銀行）

### 5-2 WEBによる広報活動

幅広い層へむけた情報公開を行う。また、ハーモニセンターの公式ブログや公式Facebookと連携することで、常に新しい情報を迅速に伝えられるようにする。

### 5-3 パンフレット・チラシ・ミニコミ誌の活用

インターネット環境のみに頼ることなく、紙媒体をも充実させ、「全職員広報マン」の意識を持って牧場、動物広場への利用者誘導に努める。

## 8 その他

### 6-1 人材育成

#### 6-1-1 職員

内外のシンポジウム、セミナー、研修会に積極的に職員を出席・参加させる。  
また、乗馬、接遇、場長対象等、テーマ、対象者別の研修を行う。

#### 6-1-2 ポニーキャンプカウンセラー研修

子どもトレーニングキャンプを中心とした、ハーモニセンターが主催する全ての事業に参加する青少年を対象とし、活動を通じてハーモニセンターの活動趣旨を理解・体感・賛同し、技術を体得する事で自信を持って積極的に活動を推進する一員となることを目的とする。

##### ① 宿泊研修会

	研修会名称	実施期間	会場	参加数
1	新人カウンセラー牧場研修会	6月2日～4日	蓼科ポニー牧場	15名
2	牧場研修会	6月24日～25日	ハーモニカレッジ	10名
3	登山研修会	6月30日～7月2日	八ヶ岳	10名
4	新人カウンセラー牧場研修会	6月30日～7月2日	蓼科ポニー牧場	10名
5	スキー研修会	12月9日～10日	富士見パノラマスキー場	10名
6	牧場研修会	12月1日～3日	蓼科ポニー牧場	10名
7	スキー研修会	2月2日～5日	ヤマボクワイルドスノーパーク	8名
8	牧場研修会	2月2日～5日	蓼科ポニー牧場	10名
9	牧場研修会	2月20日～23日	蓼科ポニー牧場	10名
	計 9回	延べ19泊		93名

\* 2、9はハーモニカレッジとの合同研修会。

##### ② 日帰り研修会

各種技術（ギター、レクリエーション、プログラム作り、ポニーの扱い、野外炊事技能等の自然体験活動、救命救急法、安全管理等）の習得及びカウンセラー同士の相互理解を目的とする。（会場は国立青少年センター、動物広場など）

### 6-2 他団体との連携等

#### 6-2-1 役員等派遣

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会、NPO法人自然体験活動推進協議会、NPO法人日本Gボール協会に役員を、中央青少年団体連絡協議会に世話人を派遣する。

また、馬の調教や乗馬指導に関する指導を依頼される団体、機関に指導者を派遣する。

#### 6-2-2 運営協力

治療的乗馬研究集会、SAN (Social Active Network of outdoor education)、大都市圏動物園事務主管者会議、河川流域交流会、障がい者乗馬交流会、CONE フォーラム・野外教育学会、日本ユースホステル協会（一人親家庭応援プログラム、馬の楽校）の運営に協力する。

#### 6-2-3 馬寄託

東大牧場初め、依頼のあった場合、馬・ポニーを預り、管理・調教を行う。

### 6-3 団体運営体制整備

引き続き各種規程の見直し・整備を進めると共に、職員の待遇改善を図り、将来への不安を感じることなく、夢を持って日々の業務に取り掛かってもらえる環境を作る。